

令和7年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

番号	団体名	特色ある取組
1	横浜市立横浜サイエンスフロンティア 高等学校・附属中学校保護者と教職員の会	「やれる人が やれる範囲で 楽しく参加♪」をスローガンに、中高一貫校として、中高合同のPTA活動を行っている。対面での会議も実施しつつ、ITツールも活用することで、コミュニケーション強化と活動の効率化が図られている。学校行事の蒼煌祭では、地域店舗との協業販売に取り組み、行事の盛り上げと地域交流に貢献している。
2	横浜市立桂台小学校PTA	組織検討委員会を起ち上げ、PTA本部役員・委員の業務のスリム化や、保護者の負担軽減のための活動の見直しや簡略化、働く保護者も参加したくなる活動ができるよう組織の改革を行っている。また、地域と保護者で登下校の見守り活動や、読み聞かせボランティア等を行い、地域と学校のつながりを深めることに大きな成果を上げている。
3	横浜市立中川中学校保護者と教職員の会（PTA）	行事運営を効率化し、保護者が参加しやすい体制を整えた。ピアノコンサートでは、PTAが主体的に運営を担い、教職員が指導に注力できる環境を整え、標準服リユースでは、業者と連携することで保管・管理の負担をなくし、SDGsにも配慮した取組として、保護者から好評を得ている。また、地域との連携を重視し、「見守りタイ」と協力して下校時の安全活動を展開した。
4	横浜市立港南台第一小学校PTA	保護者がやりたいときにPTA活動に参加できるように、組織改革を行った。また、地域との関わりも大切にしており、毎月2～3回行っている読み聞かせには、保護者のみならず、地域の方々もボランティアとして活動している。さらに登下校の見守り活動に携わっている学援隊の方へ、子ども達からのお礼を伝える「感謝を伝える会」も行っている。
5	横浜市立平戸中学校PTA	学校に隣接する公園にて、毎月1回ボランティアによる清掃活動を行っており、子どもの参加も多いため、活動を通して清掃に対する意識や習慣、マナー等、社会性や協調性を学ぶ場としても機能している。また、地域・学校・PTAをつなぐ役割も担っており、一緒に作業をすることで地域の結束力を高め、緑豊かなまちづくりへと貢献している。
6	横浜市立川和中学校PTA	日々の活動を保護者が主体となり、場面に応じ生徒と一緒にを行い、多感な時期の生徒と保護者のコミュニケーションを図る機会を創出している。また「教職員の負担軽減」「保護者と生徒の満足度」「教職員と保護者の関係性向上」の観点でPTAと親児の会が連携し、保護者の参加機会を広げることで、PTA活動をより身近に感じられる組織づくりを推進している。
7	川崎市立川中島小学校PTA	学校や川中島コミュニティと連携し行事を開催し、地域社会の交流の一翼を担っている。各専門委員の活動では、広報委員は年3回の広報誌を発行、成人委員は親子工作・星空観察・給食試食会等のイベントの開催、校外委員はこども110番等の地域に密着した活動を行い、学校やPTAを身近に感じられる取組を実施している。
8	川崎市立京町小学校保護者と教職員の会	子どもたちの安全や学校生活を支える取組により、地域との密接な関係性を継続的に構築している。通学路の危険個所を把握し、学校や地域と連携して安全対策を講じる交通安全指導、地域住民や関係機関と協力し、子どもたちの安全確保に努める地域連携活動など、多岐に渡る活動を通して、児童・生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりに貢献している。
9	川崎市立荻宿小学校PTA(保護者と教職員の会)	「参加できる人が、参加できるときに、無理なく協力できる範囲で」をコンセプトに、保護者の誰もが参加しやすいPTA運営を目指し、PTA配信ツールの導入によるペーパーレス化の推進、委員会活動の一部をボランティア制へ移行するなど、円滑な運営のための工夫により、多くの保護者の参加を促している。
10	川崎市立下作延小学校PTA	様々なサポート活動を継続的に実施し、学校と地域との橋渡しなどに貢献している。PTA主催の「下小まつり」の中で行っている、子どもたちの作成物の販売（こどもマルシェ）やステージでのダンス披露は、子どもたちの発表の機会創出や地元店の宣伝につながり、児童、保護者、先生、地域の方々などが顔の見える関係構築に寄与している。
11	川崎市立橘小学校PTA	PTA主催の「ふれあい祭」では、町会やOB会、子ども会、地域ボランティアと連携して、地元野菜の販売や豚汁等の調理販売、遊びブースの出展、児童のステージ発表や作品展示等を行った。調理販売は、災害時の炊き出しの為の機材・道具の点検や訓練にもなることもあり、有事の際の訓練も兼ねて連携した取組となっている。
12	川崎市立中野島小学校PTA	児童が安全で安心して通学できるようにアンケートを実施し、気がついた点や危険だと思った点などを収集した。収集した内容を反映して「安全・安心マップ」を更新し、ホームページにて公開した。また、通学路の危険個所に「ふくろう看板」を設置する取組や、夕方パトロールを実施し、児童の安心安全を実現している。
13	川崎市立柿生小学校PTA	「できる人ができる時にできることを」を合言葉に取り組んでいる。一人一役担う制度を廃止し、参加可能な人たちでチームをつくり取り組む「チーム制」を導入することで、働く保護者も気軽に参加できる仕組みを確立した。また、複数の親子イベントやPTA主催の秋祭りであるフェスタの開催、校外パトロールなど、子どもたちの健全育成と安全確保に貢献した。
14	川崎市立真福寺小学校PTA	ビジネスチャットの活用により、会員同士のスムーズな連絡体制を構築している。また、教員やPTA役員、委員会で構成される月1回開催の実行委員会も、Wi-Fiやスピーカーマイクを導入し、オンライン開催を加えたハイブリット開催をするなど、効率化を図っている。

令和7年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

15	相模原市立相模台小学校PTA	ふれあい事業として、地元のプロサッカーチーム「SC相模原」の協力を得てサッカー教室を開催し、交流を図っている。また、相模台公民館主催の「子どもまつり」のサポーターとして、祭りの企画や運営にPTAが携わり、地域と共に子どもたちの健全育成に寄与している。
16	相模原市立二本松小学校PTA	地域住民の協力のもと、登校時間に自宅の前に出て、子どもたちと元気にあいさつを交わす「グリーティングロード」の実施や、相模原市緑区のイメージキャラクターの「ミウル」の着ぐるみを着用して正門前であいさつ運動を実施するなど、子どもたちのあいさつ習慣の定着や地域住民とのつながりを深めることに取り組んでいる。
17	相模原市立弥栄小学校PTA	PTA主催のふれあいまつりや給食の試食会などのイベント参加者を増やし、委員会や地域活動の積極的な参加に繋げるなどの工夫を行っている。また、「もみの木コンサート」にて、近隣の学校やその他団体等との交流を深める事で、地域と連携して子どもたちの見守り活動を積極的に行っている。
18	相模原市立相陽中学校PTA	保護者と教職員が連携を図りながら、通学路における危険箇所の調査を行っており、同時に生徒への声かけ、調査結果をPTA運営委員会や保護者会等で多くの保護者に共有するなど、生徒の安全な通学環境の実現に向けて取り組んでいる。また、あいさつ運動において、地域所属のプロスポーツチームの選手や市長などの学校関係者以外の方を巻き込んで実施し、あいさつ習慣の活性化を図っている。
19	相模原市立小山中学校PTA	「学校応援団として、出来る人が出来る時に出来ることを行う」をモットーに、プール清掃など、教職員が担っていた業務に保護者も積極的に取り組むことで、教職員の働き方改革につながっている。また、高校進路説明会をPTAが主催し、説明会に加えて、卒業生やその保護者などの声を集約した「親子のキャリアブック」を発行し、生徒や保護者に好評を得ている。
20	横須賀市立大楠小学校PTA	町内会など地域全体が一丸となって子どもたちを見守っており、連携・協力を得ながら子どもたちの成長と郷土愛を育む活動をしている。また、SNSを活用して保護者や学校の負担を減らす工夫をしながら、会員の柔軟な参加が可能な運営体制を整備している。
21	横須賀市立大津小学校PTA	「おおつわくわくイベント」では、かくれんぼ（先生探し）と近隣の中学校吹奏楽部を招いて音楽鑑賞教室を行い、多くの児童、保護者が参加した。ヒントを頼りに校内に変装して隠れている先生方を探してクイズの答えを集めるラリーをしたり、児童が楽器体験をしたりするなど、イベント実行委員から出されたアイデアが満載で、先生と児童の交流も深まる楽しいイベントとなった。
22	鎌倉市立今泉小学校PTA	地域の方々やPTAの協力のもと、年間を通じて、見守り隊、本の読み聞かせなど、学校や児童と関わる部分で非常に大きな役割を担っている。これらの活動には、自主的にボランティアとして多くの保護者が参加し、教員と保護者の関係を深めるとともに、学校運営の一助となっている。学校、PTA、地域の果たす役割について共に考え、よりよい教育環境づくりを進めている。
23	藤沢市立新林小学校保護者と教職員の会	会員に共働き家庭が増える中、組織の改革、活動への参加形態を模索し、新たなより良い組織の在り方について意識的に改革を続けている。リモート会議を開催することにより、対面会議数を削減し、各種ボランティアの機会を増やして運営を進めるほか、アンケートフォームや意見箱「声の箱」を設置し、会員からの意見聴取にも積極的に努めている。
24	逗子市立小坪小学校PTA	各家庭・地域の方々・漁港の方々と連携し一体的な取組を行っている。また、逗子市PTA連絡協議会の担当校として市内各校との連携を深め、情報交換を積極的に行うことでそれぞれのPTA活動に役立つように努めた。さらに、令和6年度小坪小学校創立150周年を迎え、年間を通して様々な周年行事を実施し、保護者、教職員だけでなく、地域と共に創立150周年を盛り上げる活動を行った。
25	厚木市立南毛利中学校PTA	学校の花壇の維持管理や、卒業式・合唱コンクール等の行事での受付・誘導、合唱コンクールのDVD販売など、PTAが多面的な支援を行い、学校と連携した取組を進めている。これにより教職員の業務負担が軽減され、保護者の学校運営への理解と参画も深まり、学校とPTAの協力体制づくりに着実な成果を上げている。
26	大和市立西鶴間小学校PTA	子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらうことを目的に、PTA独自のお祭り「わくわくフェスタ」を毎年開催している。全PTA役員・委員の他、地域団体の協力も得て、令和6年度は工作体験、ゲーム、キッズショーなど14ブースを展開し、在校生と保護者を合わせて870名が来場し「楽しかった」という声が多数寄せられた。
27	綾瀬市立寺尾小学校PTA	毎年「ふれあいフェスティバル」を地域の協力を得て開催し、子どもたちや保護者、地域住民が一緒になって盛り上げている。また、PTA広報紙を老人会や高齢者施設、パトロール隊、学童等、広く地域で回覧して学校の教育活動及びPTA活動についての情報発信を行うことで、会員がPTA活動を深く理解し参加意欲を高めるとともに、地域の方々にPTAの活動への理解と協力を得ることに役立った。
28	平塚市立金田小学校PTA	PTA本部が企画運営している「秋まつり」では、地域団体や学校、保護者の協力により、子どもたちの体験活動を中心としたイベントを開催し、好評を得ている。また、学区内の安全を確認するために「地区懇談会」を毎年開催し、保護者や地域、教職員に危険箇所を共有したり、各機関に改善を呼びかけたりして、子どもたちの安全な環境に尽力している。

令和7年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

29	二宮町立一色小学校PTA	家庭数が少ない中で、それぞれの事情に配慮しながら、活動している。旗振り当番の回数見直しや地域のボランティアとの連携を強化すること等で、無理なく安心して関わることができるPTAとなっている。また、創立60周年記念事業として、地域を走るパッカー車に児童がペイントするイベントを学校運営協議会と協力して行い、好評を得ている。
30	二宮町立二宮中学校PTA	PTA活動が誰にとっても持続可能なものとなるよう、対面で開催していた会議を書面開催に切り替えることや委員定数を見直すなど、PTA活動全体のスリム化を図った。また、保護者と教職員が手と手を取りあい、時には地域住民の協力を得ながら、学習会や講演会、体験活動などの取組を行っている。
31	小田原市立下府中小学校保護者と教師の会（PTA）	季節感を感じられるように続いているイルミネーションの設置やこいのぼりの設置など、子どもたちの学習環境を楽しいものにするための活動を行っている。子どもだけでなく、地域の方も心待ちにしている。アンケートを実施し、意見や希望について速やかに運営委員会で話し合い、任意加入について確認する場を設けたり、委員数の削減を図ったりするなど積極的にPTA活動の見直しと改革を行った。
32	小田原市立片浦小学校PTA	6年生の保護者から、中学入学前に中学生になってからの子供たちの変化について知っておきたいという要望を受け、「思春期を迎えた子へ」というテーマでPTA講演会を開催した。小田原市の担当職員を講師に招き、思春期の子どもや不登校に対する悩み解決のヒントや大切にしていきたいことなどをポイントを絞って話していただき、会員の学びの機会となった。
33	山北町立やまきたこども園保護者会	園と家庭が一体となって取組を推進している。約15年以上続いている地域ボランティアによるお茶会（茶道）に、保護者会（年長の保護者）が運営協力している。保護者が園児と一緒にお茶会に参加し、めったに経験ができない茶道を親子で楽しむ時間を過ごすことができている。茶道という非日常の経験を親子で過ごせるイベントは、保護者の中で好評を得ている。
34	神奈川県立麻生高等学校PTA	「立候補したくなるPTA」を目標に掲げ、新たな取組として会員向けのバイオリン体験授業を企画した。また、保護者や学校の要望を受け、制服リサイクルを開始した。保護者がPTA活動に参加する機会を多くしたことで、保護者はその必要性を実感しやすくなった。さらに、神奈川県立高等学校PTA連合会の大会で事例発表を行い、他校のPTA活動の活性化にも貢献した。
35	神奈川県立大磯高等学校PTA	PTAが主催する伝統行事として、「海岸清掃」を生徒、保護者、学校、地域ボランティアと協力して実施している。また、地域自治体と連携した防災活動にも力を入れており、生徒と共に訓練をしたり、広報紙等で広く情報発信をしたりしている。PTAが地域と学校をつなぐハブとしての役割を果たし、PTAだからこそ実現できる取組を推進している。
36	神奈川県立横須賀大津高等学校PTA	「PTAだより」や広報誌を掲載する会員限定閲覧サイトを開設し、ペーパーレス化による経費削減や作業負担の軽減を実現した。PTAは「大津サイコー！」を合言葉に、交通安全指導や参考書リサイクル等を通じて、生徒や教職員とさまざまなことを共有し、時代に即した活動を模索し、日々「再考」を重ねている。また、これらの活動は他校PTAの参考にもなっている。
37	神奈川県立海洋科学高等学校PTA	学校の特色を生かした「サバ釣り体験会」「無線交信見学会」「ドローン操縦体験会」等を実施している。保護者が学校を訪れる機会を増やすことにより、先生方との交流の場を提供している。いずれのイベントも保護者から大変好評を得ている。また、PTA作成の広報紙は、学校生活等の情報を網羅しており、質の高い内容となっている。
38	神奈川県立津久井高等学校PTA	PTAが「命を守る」をスローガンに掲げ、学校や地元警察、交通安全協会等の関連機関と連携し、交通安全の啓発活動を積極的に実施している。文化祭での自転車シミュレーター体験や、朝夕の登下校時間にヘルメット着用義務化の定着を目指して声掛けをする等、一過性で終わらない継続的な活動を展開し、大きな成果を上げている。